

(退任の挨拶)

PTA 会長を退任するにあたり、皆さまにご挨拶させていただきます。

はじめに、新型コロナウイルスの影響を受けているすべての皆様にお見舞い申し上げます。保護者の皆様には、毎朝の検温や健康観察にご協力いただきありがとうございます。また、教職員の皆様にも日頃より校内での感染予防対策に気を配っていただきありがとうございます。すべての方々の頑張り子どもたちが安全・安心に登校できたことに感謝申し上げます。

振り返ると、昨年の4月の総会は臨時休業中の為、開催できず、令和2年度の役員が参加する最後の総会であったはずの今月の総会も、感染者が増えてきた為、中止となりました。最初から最後までコロナウィルスに振り回された年となり、直接ご挨拶ができずとても残念に思っています。昨年度は今まで当たり前に行われていた行事がほとんど実施できず、せっかく役員になっていただいた方々に活躍の場を設けることができず、心苦しく思います。その反面、改めて日々の「当たり前」の大切さを実感した年でもありました。

私は4月17日をもって、瀬戸田小学校のPTA会長を退任しました。副会長として1年、その後会長として1年、役員を務めさせて頂きました。保護者の皆様をはじめ、山崎校長先生や、いつも窓口となってくれた秋山教頭先生、また教職員の皆様、地域の皆様、そして一緒に頑張ってくれた役員の皆様、本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

この2年間を振り返って印象に残っているのは、いつも多くの保護者の方がいろんな場面で積極的に参加してくれたことです。球技大会での優勝、夜遅くまで残って片付けをした観月会、汗を流しながら建てた運動会のテント、コロナ禍のなかで成功させた音楽発表会など、いつも多くの保護者の方が笑顔で参加してくれていたことがとても印象に残っています。今後は少しずつ、できる範囲で学校行事を再開していくと聞いています。ただ、すぐに今まで通りとはいかず、戸惑う方もいらっしゃると思いますが、引き続きPTA活動へのご協力をよろしく願いいたします。

昔、子育てや、教育といったものはスポーツのラグビーに似ていると聞いたことがあります。ラグビーはゴールを目指す他のスポーツと違うのは、前に進みながら、パスは後ろに繋ぐことです。子育てや教育にはゴールというものはないかもしれませんが、私たちが先人から教わったものを、前に進みながら、いいパスを子どもたちに出せる人間でありたいと思います。

私の子どもたちは皆、瀬戸田小学校を巣立ったので、これからは地域の目として瀬戸田小学校の子どもたちを見守っていきたいと思います。

結びに、瀬戸田小学校の更なる発展と、皆様のご多幸と、一刻も早いコロナウィルスの収束を願って、御礼のご挨拶とさせていただきます。